

活性化策を提案する



質問者
小澤 啓司 議員

少子高齢化・人口減少・消費不況など我が町を取り巻く環境は厳しさを増し、税収のさらなる減少が予測される。活力ある町づくりを推進するために、次のことを提案する。

① 平成27年度より「ふるさと納税」の控除限度額が2倍に拡大され、自治体間の獲得競争が加速する。地場産業育成のためにも魅力ある返礼品を取り揃える等、積極的な対応が必要だ。
② 松田氏の子孫が金沢市に在住し、松田氏のルーツを調査している。全国の松田姓に呼びかけ、我が町で「松田サミット」を開催してはどうか。

③ 商店街共通の「やっこさんシール」が加盟店や金融機関で流通している。税金や水道代・使用料支払いなどに活用できないか。

A

全国に呼びかけ「松田サミット」開催を検討する
回答 (町長・教育長)

① 平成26年度の納税額は63万円にとどまる。町の魅力の発信や観光PRにもなることから、サクラムスの加工品など特産品の開発に努力すると共に、納税しやすい制度の導入を検討する。

② 松田姓を持つ人は全国に5万人いる。金沢市にも松田姓の子孫がいて、ルーツを調べている。こういった方をお招きし講演会を開くと共に、全国に呼びかけ「松田サミット」の開催を企

画したい。
③ 地方自治法や松田町会計規則に抵触することから、「やっこさんシール」を利用した直接支払いはできない。商店街活性化に向けた取り組みは、今後も商工振興会と協議していく。

国の地方創生政策に対し松田町の27年度当初予算の配分は？



質問者
大館 秀孝 議員

去る2月13日、27年度当初予算の概要が発表されました。歳入面では、町税△1・6%、地方交付税△1・8%、国庫支出金△1・3%、県支出金△1・8%と全てが減額されています。それに

対し、財政調整基金からの繰り入れが98・3%増の1億4千万円、毎年取り崩してはすぐに底をつくのではありませんか？
歳出面では、人口減少が続いているさなか人件費5%、4361万円増、普通建設費25・4%、7470万円減とされていますが、町の活性化・人口増加策・地方創生への取り組みができるのかお伺い致します。



商品化されたサクラムス

A

事業ごとに優先順位をつけ重点的に予算を配分
回答 (町長)

し、町民のためになる事業には重点的に予算付けをした。

今回の予算編成は、徹底的に無駄を省き限られた財源で、「安心・安全・住み良い町」「子育て世代支援」「行財政改革」の3つの柱を重視し、事業ごとに優先順位を付け未来への投資と

しかし、国の財政計画は税収増を見込んでいますが、松田町では納税者人口の減と、地方交付税の減額が想定されている。人口ビジョンによる今後の人口問題に対する「地方版総合戦略」策定に当たっては、一部局での計画案作成でなく全庁で取り組むと共に、産業界・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等との連携協力を図っていく。